

2019 年度実施概要

学校名

長野県松本市立鎌田小学校

採択活動名

山・川・海をつなぐ環境教育

取り組みの概要

テーマ

人と地域と水との関わりを体験したり調査したりすることを通して、探求心を持って自ら学ぼうとする子どもを育てる（今年度は、1年生の校内授業研究会を実施）。

テーマ設定の理由

地域の川や水と触れ合い親しんだり、川と水と地域との関係を調査したりする活動を通して、子ども達が興味関心を持ち、人にとって水は欠かせないものであること、川とつながる海を介して世界とつながっていることを知ってほしい。そして、海が非常に重要な資源となっていることを様々な学習を通して知り、どのように関わっていくことが望ましいのか考えていける子どもの育成を目指した。

学習内容

- ・研究部会を組織し、担当者が学年に応じた学習内容を立案。学年が上がるにつれ、水から川へ、川から海へ、海から世界へと興味関心を広めていく全体計画
- (a) 学校探検～カメ池のひみつをさがろう～（1年生・生活科）
湧水で整備された校内の池に関する学習では、カメやコイがいて子どもたちの憩いの場であるカメ池（校内の池）を教材化。水を題材に、海とのつながりを学ぶ学習のはじまり。
- (b) 川遊び かがやく夏（2年生）
自分たちで船づくりをし、水のなかを進むための工夫を考える。
- (c) 地域の水に関する学習（3・4年生）
総合：地域の川マップ作り、社会：住みよい暮らしをつくる「水のゆくえ」
- (d) 教科学習に海の視点を取入れる取組み（5年生）
国語：百年後のふるさとを守る、社会：わたしたちの国土他
- (e) 歴史学習と絡めた地域の水に関する学習（6年生）
理科：松本はかつて海だった、総合：松本城のお堀の水はどこから

活動中の写真



実施単元名

1. 学校探検～カメ池のひみつをさがろう～（1年生・生活科）
2. 川遊び かがやく夏（2年生・生活科）
3. 水のゆくえ（4年・社会、総合）